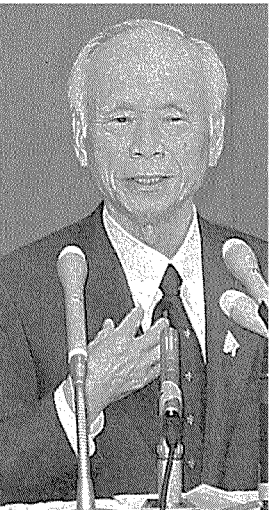


重瀨氏死去 惜しむ声相次ぐ

前北九州商工会議所会頭で、TOTO社長などを務めた重瀨雅敏氏(TOTO特別顧問)の死去が伝えられた8日、ゆかりのある地元政財界から惜しむ声が相次いだ。

【一面参照】

重瀨氏は2005年供用開始の貨物港「ひびきコンテナターミナル」(北九州)や、06年の北九州空港(同)開港などに貢献した。北九州商議所の利島康司会頭は「『北九州新時代の陸海・空交通』の基盤整備に大きな役割を果たされ、中心市街地の活性化にも心血を注がれた」。同時に副会頭を務めたタカミヤ(同)の高宮俊樹会長は「大



北九州商工会議所会頭重瀨雅敏氏(2010年)

IOT導入そろり

九州138社中1割に

あらゆるものがインターネットにつながる「IoT」(インターネット・オブ・シングス)の技術を使って、業務の効率化や新たなサービスの創出につなげようとする動きが九州でも出ている。通信機器や通信環境が使いやすく安価

現場と開発側 連携強化へ

数々のカーナビ用の部品から、高さ数メートルの通信基地局のキャパまで、形も大きさも異なる金属製品。台車に載せられ、次の工程へと運ばれていく。

金属加工の三松(福岡県筑紫野市)は昨年6月、工場内の台車約280台に位置情報を把握するセンサーを取り付けた。少量多品種を受注生産するため工場では常時4万〜5万点の製品が動いており、従業員が目的の製品を探し回る時間を減

らすためだ。田名部徹朗社長は「労力の3〜5%を使っていたであろうモノ探しの時間が半減した」と語る。自社の技術者で作った従来の生産管理システムと関連づけることで、工場の従業員の手間はほぼ変わらず

生産の進捗状況がよりリアルタイムで分かるようになった。今後は位置情報の精度を高め人工知能(AI)を使ってさらに効果的な動線などを検討するという。

アイデア不足

ただIoTを活用している企業はまだ多くない。九州経済産業局のアンケートでは、製造業や農林水産業医療などIoTの導入が想定される九州の企業138社のうち、IoTに「取り組み

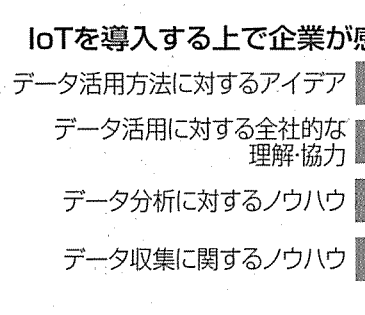
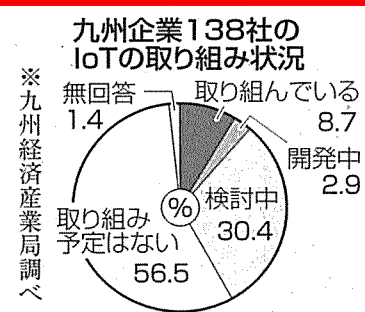
IoTの導入企業と、サービス提供企業に分けた場合、九州経済産業局の秋吉英治情報政策課長は「米国ではシステム開発の技術者の7割が導入企業側にいるが、日本は7割が提供企業側にいる」と指摘。現場のニーズを掘り起こしアイデアを具現化するための「場づくり」の重要性を訴える。

その一環として、同局が事務局となって導入側と提供側のマッチングイベントなどを行う「九州IoTコミュニティ」(仮称)を今夏にも設立する方針。アイデアを実践する「実証ラボ」の設立準備も進む。富士通九州システムサービス(福岡市)は4月、顧客企業などIoTを使ったサービスを生み出す場として、アイデアの試作やワークシ

「IoTへの関心を高め、現場のニーズを吸い上げる環境をつくれるのが普及の鍵になりそうだ。」

「IoTへの関心を高め、現場のニーズを吸い上げる環境をつくれるのが普及の鍵になりそうだ。」

「IoTへの関心を高め、現場のニーズを吸い上げる環境をつくれるのが普及の鍵になりそうだ。」



④製作中の製品を素早く探せるよう、位置情報を示すセンサーを取り付けた台車II福岡県筑紫野市の三松⑤筋肉トレーニングを効果的に行うため、鍛えたい場所にセンサーを取り付け、筋肉の動きを確認するシステムII福岡市のネットワーク応用技術研究所

「IoTへの関心を高め、現場のニーズを吸い上げる環境をつくれるのが普及の鍵になりそうだ。」

「IoTへの関心を高め、現場のニーズを吸い上げる環境をつくれるのが普及の鍵になりそうだ。」

「IoTへの関心を高め、現場のニーズを吸い上げる環境をつくれるのが普及の鍵になりそうだ。」

「IoTへの関心を高め、現場のニーズを吸い上げる環境をつくれるのが普及の鍵になりそうだ。」

「IoTへの関心を高め、現場のニーズを吸い上げる環境をつくれるのが普及の鍵になりそうだ。」

「IoTへの関心を高め、現場のニーズを吸い上げる環境をつくれるのが普及の鍵になりそうだ。」

「IoTへの関心を高め、現場のニーズを吸い上げる環境をつくれるのが普及の鍵になりそうだ。」

「IoTへの関心を高め、現場のニーズを吸い上げる環境をつくれるのが普及の鍵になりそうだ。」

「IoTへの関心を高め、現場のニーズを吸い上げる環境をつくれるのが普及の鍵になりそうだ。」

「IoTへの関心を高め、現場のニーズを吸い上げる環境をつくれるのが普及の鍵になりそうだ。」

「IoTへの関心を高め、現場のニーズを吸い上げる環境をつくれるのが普及の鍵になりそうだ。」

「IoTへの関心を高め、現場のニーズを吸い上げる環境をつくれるのが普及の鍵になりそうだ。」

「IoTへの関心を高め、現場のニーズを吸い上げる環境をつくれるのが普及の鍵になりそうだ。」

「IoTへの関心を高め、現場のニーズを吸い上げる環境をつくれるのが普及の鍵になりそうだ。」

「IoTへの関心を高め、現場のニーズを吸い上げる環境をつくれるのが普及の鍵になりそうだ。」

「IoTへの関心を高め、現場のニーズを吸い上げる環境をつくれるのが普及の鍵になりそうだ。」

「IoTへの関心を高め、現場のニーズを吸い上げる環境をつくれるのが普及の鍵になりそうだ。」

帝国データバンク福岡支店が発表した2016年の九州・沖縄の社長分析で、平均年齢は59.1歳と比較可能な1990年以降、過去最高を更新した。一方、社長が交代した割合は4.03%と7年ぶりに4%台に上昇した。

社長平均年齢59.1歳

16年九州・沖縄 過去最高に

以上の企業では交代率が上がり、40歳以下の構成比も増加したという。調査担当者は「後継問題に直面している中小・零細企業と中堅以上の規模の企業で二極化が進んでいる」と話す。

県別にみると平均年齢が最も高かったのは長崎県で60.3歳。唯一60歳を超えた。交代率では沖縄が4.63%で最高。福岡が4.21%で続いた。

女性社長の比率は8.8%で、過去最高を更新した。県別では沖縄と佐賀が10%を超えた。

旧熊本本社を再開発 6階建て複合ビルに

西部電気工業(福岡市)は、熊本市中央区の旧熊本本社用地の再開発計画を発表した。2019年秋に6階建ての複合ビル(延べ床面積約1万平方メートル)を建設し、オフィスや商業機能を設けるII写真はイメージ。

再開発は「雇用の創出」などがテーマ。3〜6階はコールセンターや企業に貸し出す。1階に店舗を誘致する予定で、スーパや託児所などを検討。2階などに立体駐車場を設け、ビルのそばに広場を整備する。

同社は、10年に本社登記を熊本市から福岡市に変更。旧本社は老朽化が進み、熊本地震で被災した。

博多住みたい街1位

福岡都市圏「駅単位」で人気調査

不動産情報サイトを運営するリクルート住まいカンパニー(東京)は、福岡都市圏の「住みたい街ランキング」を発表した。駅単位で1位は「博多」(福岡市博多区)、2位「大濠公園」(同市中央区)、3位「西新」(同市早良区)だった。

同社としては初の調査。2〜3月、福岡市在住の20〜49歳540人がインターネット上で回答した。1位の博多は、若い人の支持が多く「活気がある」「資産価値が高い」などの理由が挙がった。2位の大濠公園は40代を中心に「自然が多い」「利便性が高い」などの声があったという。

4位以下は、いずれも福岡市内の駅で④薬院⑤姪浜⑥天神⑦西鉄平尾⑧千早⑨赤坂⑩大橋の順だった。

1〜3月の九州景況「持ち直し」
人手不足は慢性化
九州経済産業局は1〜3月期の地域経済産業調査を発表した。九州の景況は、2期連続で「持ち直ししている」と判断した。

生産は自動車や半導体などの輸出が好調。熊本地震の復旧需要で、アルミサッシなど建設資材の受注も多くなっている。

雇用は賃金などからみると、化しており、事例がある。調査は3月までと各社がまとめている。

景況感3
西日本
市が発表の1〜3月品査によると、感BSIはで、昨年10・9改善期連続。製造業は改善のペースが堅調な上、導体のほか、高を価格に高が良くなるようだ」と

クルマ出張鑑定団

廃車買取

30 だ世界